

該当箇所	誤	正
基礎化学編		
目次 p.vii 右段 6.9 節の後	Application : 通風と腎臓結石 : …	Application : 痛風 と腎臓結石 : …
Application および Connection : Application の 19 行目	通風と腎臓結石 : …	痛風 と腎臓結石 : …
1 章		
p.13 問題 1.11 の 2~3 行目	この7つの元素が非金属である. 金属と非金属を比較し, どこに現れるか周期表で探せ.	この7つの元素が 半金属 である. 金属と非金属がどこにあるか, 周期表に示せ.
p.16 問題 1.37(a)	eT	Te
p.17 問題 1.43(b)	白金	ホワイトゴールド
p.17 問題 1.45	つぎの化学式であらわされる各元素には, …	つぎの化学式であらわされる各 化合物 には, …
p.17 問題 1.53	HgCl ₂	Hg ₂ Cl ₂
p.17 問題 1.62		削除
2 章		
p.20 表 2.2 「例」の 5 行目	1 デシリットル(deL)	1 デシリットル(dL)
p.22 表 2.3	1t = 907.03 kg	1 t = 1000 kg
p.25 APPLICATION : 図のキャプション	中性の…	中 世 の…
p.31 問題 2.12c.	ミリリットルと…	リットルと…
p.31 問題 2.13b.	2400 mL =	2500 mL =
p.33 問題 2.16a.	3200 g の…	3400 g の…
p.33 例題 2.10 解答の段階 3 の右段	1 g × 1,000 mg = 1,000 mg / 1 g 15 mg/mL = 1 mL / 15 mg	1 g = 1,000 mg → 変換係数1 = 1,000 mg / 1 g 15 mg/mL → 変換係数2 = 1 mL / 15 mg
p.33 例題 2.11 解答の段階 3 の右段	1 mg = 1,000 μg = 1 mg / 1,000 μg	1mg = 1,000 μg → 変換係数 = 1 mg / 1,000 μg
p.34 APPLICATION : 本文左段の 10 行目	66.7 kg	86.7 kg
p.35 セルシウス温度をファーレンハイト温度に	°F = {(9 °C / 5 °C) × °C} + 32 °F	°F = {(9 / 5) × °C} + 32 [単位と変数を整理. °F と °C は, それぞれを単位とする変数と考える]
p.35 ファーレンハイト温度をセルシウス温度に	°C = (5 °C / 9 °F) × (°F - 32 °F)	°C = (5 / 9) × (°F - 32) [単位と変数を整理. °F と °C は, それぞれを単位とする変数と考える]
p.35 例題 2.12 解答の段階 3 の右段 解答の段階 4 の右段	°C = (5 °C / 9 °F) × (°F - 32 °F) °C = (5 °C / 9 °F) × (-40 °F - 32 °F)	°C = (5 / 9) × (°F - 32) °C = (5 / 9) × (-40 - 32)

	= -40	= -40
該当箇所	誤	正
p.42 問題 2.32		日本の計量カップの容量は 200 mL であることに注意. [但し書きを追加]
p.43 問題2.40(a) 誤	cL	cm
p.43 問題 2.40(d)	nL	nm
p.43 問題 2.40(g)	cc	cm ³
p.43 問題 2.54(d)	[単位] m	[単位] cm
p.44 問題 2.88 の 2 行目	鉄 39 mL/dL	鉄 39 mg/dL
p.45 問題 2.95 の 2 行目	3,000 L	3,000 mL
p.45 問題 2.106		削除
3 章		
p.48 左欄外一番上	原子は非常に小さく, この線の幅が原子 3 億個分ほどに相当する.	原子は非常に小さく, この線の幅が原子 300 万 個分ほどに相当する.
p.69 例題 3.9 の解答: 最下行	[Kr] 5s ² 4d ²	[Kr] <u>5s²</u> 4d ² [下線]
4 章		
p.81 下から 5 行目	それぞれの負に荷電した…	それぞれの正に荷電した…
p.83 例題 4.3 の解答: 6 行目	中性のマグネシウム原子は 2 陽子と 12 電子をもつ.	中性のマグネシウム原子は 12 陽子と 12 電子をもつ.
p.81 下から 5 行目	それぞれの負に荷電した…	それぞれの正に荷電した…
p.85 2 行目	原子記号	元素記号
p.85 3 行目	原子記号	元素記号
p.85 右わき “電子点式表記” の解説 2 行目	原子記号	元素記号
p.90 問題 4.17	ナトリウム, カリウムおよび塩素の…	ナトリウム, カリウム, カルシウム および塩素の…
p.91 表 4.4 左カラム下から 3 行目	シアン化イオン	シアン化物イオン
p.91 表 4.4 左カラム下から 2 行目	水酸イオン	水酸化物イオン
p.96 問題 4.27a.	SnO ₂	CuO
p.96 問題 4.28	b. 炭酸第二銅 d. フッ化銅 e. 硫酸第二鉄	b. 炭酸銅(II) d. フッ化銅(I) e. 硫酸鉄(III)
p.104 問題 4.66	硫酸イオン	硝酸イオン
p.105 問題 4.84	ほとんどの人にとって, 通常の食事由来の塩の効果はなにか?	ほとんどの人に対して, 食事で摂取する通常の塩の効果はどの程度か?
p.105 問題 4.96	(b) 酸化ウラン(IV) (d) 酸化(IV)マンガン (f) CaP	(b) 酸化ウラン(VI) (d) 酸化マンガン(IV) (f) CaPO ₃

該当箇所	誤	正
5章		
p.109 下から11行目	・Cl	Clの価電子は7個
p.123 表5.1 一番上の行 左から3カラム目	非共有電子対の数	電荷雲の数
p.133 図の左から2番目	三臭化ホウ酸	三臭化ホウ素
p.133 問題5.26c.	四フッ化臭素	三フッ化臭素
6章		
p.148 問題6.3	オゾン(O ₃)は成層圏で太陽光が酸素に照射することにより生成する.	オゾン(O ₃)は成層圏において、酸素分子への太陽光からの放射により生成する.
p.149 3行目	分子量(NW)	分子量 [(NW)をとる]
p.151 例題6.6: 解答の段階3, 段階4の右段(3, 4行目)	21.01 g 炭素 [2箇所]	12.01 g 炭素 [2箇所]
p.152 APPLICATION: 右段4 行目の式の分母	(2.5×10 ⁻⁷ cm ²)	(2.5×10 ⁻⁷ cm) ²
p.154 例題6.8: 1行目	[リン酸水素ナトリウムの後に追加]	(Na ₂ HPO ₄ , MW=142.0 g/mol)
p.155 問題6.11		アセトアミノフェンの分子式: C ₈ H ₉ NO ₂
p.156 6.6節の6行目	… 反応はつねに物質量のモルとモルを …	… 反応はつねに 物質量 を …
p.156 6.6節の8行目	物質量のモルからモルへの変換は …	物質量から 物質量 への変換は …
p.157 例題6.10: 解答の段階2	物質量のモルからモルへ変換して …	物質量から 物質量 へ変換して …
p.160 問題6.17: 2行目	酸化エチレンオキシド	エチレンオキシド
p.160 問題6.17: 3行目	エチレンの分子量=…	エチレンオキシドの分子量=…
p.160 問題6.17: 反応式	酸化エチレン	エチレンオキシド
p.165 下から7行目: 化学式の左辺	3O ₃ (g)	3O ₂ (g)
p.169 例題6.19 解答: 4~8行 目	この反応では酸素のほかには反応物質は1つしかなく、… C ₆ H ₁₂ O ₆ 中の炭素と酸素の比は1:1になるが、CO ₂ におけるその比は1:2になる。したがって…、炭素が還元剤でO ₂ は酸化剤になる。また… C ₆ H ₁₂ O ₆ もH ₂ Oもいずれも2:1になることに注目すると …	この反応では酸素のほかには反応物質は1つしかなく (C₆H₁₂O₆)、… C ₆ H ₁₂ O ₆ 中の炭素と酸素の比は1:1 である が、CO ₂ におけるその比は1:2 である 。したがって…、炭素が還元剤でO ₂ は酸化剤 である 。また… C ₆ H ₁₂ O ₆ でも H ₂ O でも いずれも2:1 である ことに注目すると …
p.175 7~8行目: イオン反応式の矢印の右辺	[矢印の右辺の] K ⁻	K ⁺
p.180 問題6.64: 3行目の右辺	C ₈ H ₆ O	C ₂ H ₆ O

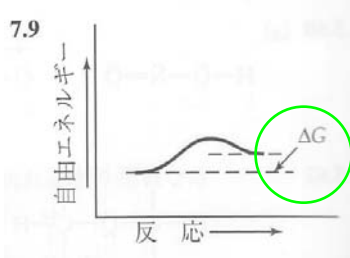
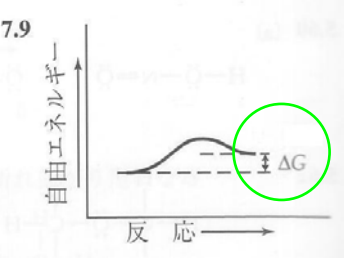
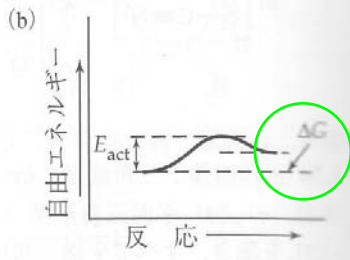
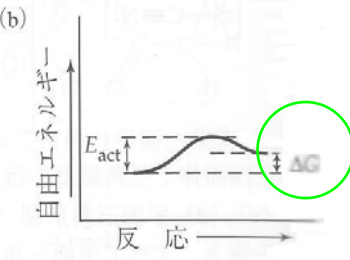
該当箇所	誤	正
p.181 問題 6.84 (b)の1行目	NaI (aq)	NaI (aq)
p.181 問題 6.84 (b)の2行目	Fe (s)	I ₂ (s)
7章		
p.189 例題 7.1 の解答 a:2行目	… kcal/mol へ変換する.	… kcal/mol の変換係数 (ΔH の値) を利用する.
p.189 例題 7.1 の確認 c:2行目	… 213 kcal より多い 250 kcal …	… 213 kcal より少し多い 250 kcal …
p.204 例題 7.5 の解説:1行目	平衡定数 K は収支のとれた化学式における係数で, それぞれの …	平衡定数 K は, 収支のとれた化学式における係数でそれぞれの …
p.205 7.9 節の2行目	prnciple	principle
p.208 例題 7.7 の問題:3行目	反応や生成物の …	反応物や生成物の …
p.208 例題 7.7 の解答 a	また平衡時には …	したがって平衡時には …
p.212 問題 7.23:1行目	つぎの図は $A(s) > B(g) + C(g)$ という	つぎの図は $A(s) \rightarrow B(g) + C(g)$ という…
p.212 問題 7.27(b), (c)	… の水を凍らせるには …	… の水が凍ると …
p.212 問題 7.27(d)	… の氷を溶かすには …	… の氷が溶けると …
p.212 問題 7.28(b)	1 g のグルコースが, 燃焼する場合に 3.8 kcal の熱が放出されると…	1 g のグルコースが燃焼する場合, 3.8 kcal の熱が放出されるとすると, …
p.214 問題 7.58(a)	$[NO_2] = 0.0250 \text{ mol/L}$ の時の平衡時における $[N_2O_4]$.	平衡時, $[NO_2] = 0.0250 \text{ mol/L}$ であった場合の $[N_2O_4]$.
p.214 問題 7.58(b)	$[N_2O_4] = 0.0750 \text{ mol/L}$ の時の平衡時における $[NO_2]$.	平衡時, $[N_2O_4] = 0.0750 \text{ mol/L}$ であった場合の $[NO_2]$.
p.214 問題 7.59(a), (b)	[上記と同様] … の時の平衡時における***	平衡時, … であった場合の***
p.214 問題 7.62(c)	平衡におよぼす以下の影響を説明せよ.	平衡におよぼす下の影響を説明せよ.
p.215 問題 7.75	アンモニアを元素から生成すると, …	アンモニアを単体から生成すると, …
p.215 問題 7.76:2行目	… 金属鉄と水を与える.	… 金属鉄と水蒸気を与える.
p.215 問題 7.76(b)	… どれだけのエネルギー (何 kcal) が…	… どれだけのエネルギー (kcal) が…
p.215 問題 7.78	多くの病院では, 静脈注射で …	多くの病院では, 点滴で …
p.215 問題 7.83:5行目	Al	アルミニウム
8章		
p.219 例題 8.1:2行目	$\Delta H = + 6.98 \text{ cal/mol}$	$\Delta H = + 6.98 \text{ kcal/mol}$
p.219 例題 8.1:2行目	$\Delta S = + 18.1 \text{ cal/(mol}\cdot\text{K)}$	$\Delta S = + 20.9 \text{ cal/(mol}\cdot\text{K)}$
p.219 例題 8.1:3行目	a. 液体から固体への …	a. 液体から気体への …
p.219 例題 8.1:5行目	b. … 液体から固体への …	b. … 液体から気体への …
p.219 例題 8.1:6行目	c. … 液体から固体への …	c. … 液体から気体への …

該当箇所	誤	正
p.220 問題 8.1 : 1 行目	$\Delta H = + 9.72 \text{ cal/mol}$	$\Delta H = + 9.72 \text{ kcal/mol}$
p.220 問題 8.1 : 3 行目	a. … 液体から固体に …	a. … 液体から 気体 に …
p.220 問題 8.1 : 6 行目	c. … 固体から液体に …	c. … 気体 から液体に …
p.227 問題 8.5	273 K 下での水素気体が体積 3.2 L, 圧力 4.0 atm である. 体積 10.0L から 0.20L に変えると圧力はどうなるか?	水素気体は, 273 K, 4.0 atm で, 体積 3.2L である. 体積を 10.0L に変化させるとその圧力はどうなるか? 0.20L に変化させるとどうか.
p.231 下から 15 行目 アボガドロの法則	体積と温度が一定の時…,	圧力と温度が一定の時…,
p.232 例題 8.8 : 解答の右のカラム 5 行目	容器の体積 =	部屋の体積 =
p.232 例題 8.8 : 解答の右のカラム 6 行目	… = $56.8 \times 10^4 \text{ L}$	… = $5.68 \times 10^4 \text{ L}$
p.233 例題 8.9 問題文追加		ただし, 1.0 atm 下にいて, 平均的な体温は 37°C であるとする.
p.234 例題 8.10 : 解答の右カラム 2 行目	$T = 37 \text{ }^\circ\text{C} = 310 \text{ K}$	$T = 20 \text{ }^\circ\text{C} = 293 \text{ K}$
p.237 問題 8.15 : 1 行目	肺の中の空気が以下に示した 組成 をもつ時, それぞれの気体の 分圧 を計算せよ.	肺の中の空気が以下に示した 分圧 をもつ時, それぞれの気体の 組成 を計算せよ.
p.241 問題 8.18	下の化合物は, その沸点は上昇するか下降するか? 説明せよ.	下の化合物の記載順は, 沸点が高い順か低い順か? 説明せよ.
p.252 問題 8.22(a)	気圧一定で温度が 300 K から 500 K に上がった.	気圧一定で温度が 300 K から 450 K に上がった.
9 章		
p.263 問題 9.2	下の物質の組合せのうち, どちらが…	下の物質の組合せのうち, どれが… [記号で解答する]
p.270 APPLICATION 右段下から 3 行目	激しい運動をすると…	激しい運動をすると…
p.273 問題 9.10	…何 mg のコレステロールが存在するか?	…何 g のコレステロールが存在するか?
p.276 問題 9.15	(補足)	…, 容積 500 mL のメスフラスコを使ってどのように調製すればよいか.
p.277 問題 9.18	100 g の飲料水中の鉛および銅の最大許容量を g 単位で求めよ.	100 g の飲料水中の鉛および銅の最大許容量を mg 単位で求めよ.
p.286 問題 9.28	この物質が溶解すると, 何個のイオンが生じたことになるか?	この物質が 1 mol 溶解すると, 何 mol のイオンが生じることになるか?

該当箇所	誤	正
10 章		
p.315 問題10.18	…のオキソニウムイオンを求めよ.	…のオキソニウムイオンの濃度を求めよ.
p.333 問題10.52	胸やけ用の …	胃酸過多用の …
p.333 問題 10.53 (e)	Ba(OH ₂)	Ba(OH) ₂
11 章		
p.363 11.23	つぎの核反応によって生成する放射性核種の名称と崩壊の種類を書け.	下図の核反応を示す同位体はなにか? また,どのような崩壊の過程をとるか?
p.363 11.24, 11.25		[問題 11.24 と問題 11.25 の問題の図が逆]
p.364 11.66 4行目	1mLあたりの放射活性が 28 mCi である時, …	1mLあたりの放射活性が 12 mCi である時, …
p.365 11.82	α 放出するプロトニウム-238 は…	α 放出するプルトニウム-238 は…
p.365 11.88 (a)	[Es の右下の原子番号 (電荷数)] 93	[Es の右下の原子番号] 99
p.A-11 中段 22 行目	原子殻	原子価殻
該当箇所	誤	正
問題の解答		
A-18 1.2	物理的 ; (a), (d)	物理的 ; (b), (d)
A-18 1.2	化学的 ; (b), (c)	化学的 ; (a), (c)
A-18 1.44(d)		[追加] 水素
A-18 1.54(a)	ある物理的な変化は化学的組成を変えることはない;ある化学的変化は物質の化学的組成を変える	物理変化 は化学的組成を変えることはない; 化学変化 は化学的組成を変える
A-18 1.54(c)	[(c)に記載の解答は、(e)の解答]	元素とは、それ以上単純な物質に分解できない物質;化合物とはより単純な物質に化学反応で分解できる純物質;混合物とは、2つ以上の物質を混ぜたもの
A-18 1.54(d)	[(d)に記載の解答は、(f)の解答]	記号(元素記号)とは、各元素の種類を表すアルファベット 1~2 文字の表示法;化学式とは、純物質の元素組成を元素記号を用いて表したもの
A-18 1.54(e)		[(c)に記載の解答]
A-18 1.54(f)		[(d)に記載の解答]
A-18 2.8(a)	6.0×10 ⁵	6.0×10 ⁶
A-18 2.11(d)	51 mg	103
A-18 2.11(e)	103	削除
A-18 2.12(b)	1 μg = 0.000 001 mg	1 μg = 0.000 001 g [単位誤り]
A-18 2.12(c)	1 μL = 0.000 0001 L	1 μL = 0.000 001 L

該当箇所	誤	正
A-18 2.13(c)	9.9 dL	990 dL
A-18 2.14	795 mL	84 mL
A-18 2.16(b)	120 mL	10 錠
A-18 2.17	(a) 10.6 mg/kg (b) 36 mg/kg	大人 9.5 mg/kg, 幼児 36 mg/kg
A-18 2.19	-38.0 F ; 234.3 K	184.15 K
A-18 2.20	7700 cal	5950 cal
A-18 2.28(a)	0.977	0.978
A-18 2.30	3 1/8 in.	8.0 cm
A-18 2.48(a)	6,378,000 km, 6,400,000 km, 6,378,130 km	6,400,000 m, 6,378,130 m
A-18 2.48(b)	6.378137×10 ⁶ km	6.378137×10 ⁶ m [単位誤り]
A-18 2.52(c)	0.0144 mm	0.0000144 m
A-18 2.64	37.0°C, 310.2 K	309.7 K
A-18 2.70	Hg : 76°C ; Fe : 40°C	水銀 71°C、鉄 36.7°C
A-18 2.72	0.179 g/cm ³	0.179 cm ³
A-18 2.94	4.4 g ; 0.0097 lb	8.5g
A-18 2.108	浮く	沈む
A-18 3.8	答えはイエス	答えは一致する
A-18 3.11	3 族	13 族
A-18 3.13	窒素(1), リン(2), ヒ素(3), アンチモン(4), ビスマス(5)	窒素(2), リン(3), ヒ素(4), アンチモン(5), ビスマス(6)
A-18 3.23	12 ガリウム	ガリウム [12は削除]
A-18 3.24(c) : 簡略表記法	[Ne]4s ² 3d ¹⁰ 4p ⁶	[Ne]4s ² 3d ¹⁰ 4p ³
A-19 3.34		化学物質とは原子が特定の比率で結合したものである。 [追加]
A-19 3.78(a)	2 対, 2 不對	1 対, 2 不對
A-19 3.78(b)	4 対, 1 不對	2 対, 1 不對
A-19 3.94	He	削除
A-19 3.96	テルル原子はヨウ素原子よりも多くの中性子をもつ	テルルにはヨウ素よりも中性子数の多い同位体が多く存在するため
A-19 3.106	30 陽子	陽子数 38
A-19 4.11(a) (b) (c)		Se ²⁻ は価電子の電子点・8個 Ba ²⁺ は価電子の電子点・8個 Br ⁻ は価電子の電子点・8個
A-19 4.27(c)	炭酸カルシウム	炭酸ナトリウム
A-19 4.36 : 化合物名		赤 : 酸化マグネシウム 青 : 塩化リチウム 緑 : 臭化アルミニウム

該当箇所	誤	正
A-19 4.48		電子構造が同じになる希ガスは 36 電子をもつクリプトン, Kr
A-19 4.50(d)	$1s^2 2s^2 2p^6 3s^2 3p^6 4s^2 3d^{10} 4p^6 5s^2 4d^{10} 5p^6$	$1s^2 2s^2 2p^6$
A-19 4.70 : 5行5列目	$Fe(CO_3)_3$	$Fe_2(CO_3)_3$
A-20 4.88 : イオン名		カルシウムイオン, リン酸イオン, 水酸化物イオン
A-20 4.96(f)	$Ca_3 P_2$	$Ca_3 (PO_3)_2$
A-20 5.5		最外殻電子数は C が 8, O が 8, H が 2
A-20 5.15 ジクロロエチレン	ジクロロエチレン : 四面体型	ジクロロエチレン : 平面型
A-20 5.18		最も右の酸素原子 (—C—O—H の O) に 2 対の非共有電子が付く
A-20 5.23		[解答追加] 極性分子である
A-20 5.27 (b)		共有結合 [極性を削除]
A-20 5.31(c)	すべての炭素は, —CH ₃ を除き三角形の平面. …	炭素 : —CH ₃ は正四面体型, その他の炭素は平面正三角形型. …
A-20 5.34		[解答追加] 電子密度はO原子で高く, NH ₂ のHで低い
A-21 5.88	(b) 水酸化ナトリウム (c) 五塩化アンチモン	(b) 水素化ナトリウム (c) 五フッ化アンチモン
A-21 6.1(a)	固体の塩化コバルト(II)と気体のフッ化水素を加えると, 固体のフッ化コバルト(II)と気体の塩化水素を与える.	固体の塩化コバルト(II)と気体のフッ化水素から, 固体のフッ化コバルト(II)と気体の塩化水素が生じる.
A-21 6.1(b)	[上記と同様] …を加えると, ***を与える.	…から, ***が生じる.
A-21 6.4(d)	$2AgNO_3 + MgCl_2 \rightarrow 2AgCl + Mg(NO_3)_2$	$2AgNO_3 + MgCl_2 \rightarrow 2AgCl + Mg(NO_3)_2$
A-21 6.12	(b) 3.00 モル (c) 6.00 モル	(b) 6.00 モル (c) 削除
A-21 6.15	0.165 g H ₂	水素は 0.163 g
A-21 6.20	沈殿 : (a), (c), (e)	沈殿 : (a), (b)
A-21 6.22 (全般)	酸化	酸化剤
A-21 6.22 (全般)	還元	還元剤
A-21 6.26 (全般)	…に酸化	…に酸化されている
A-21 6.26 (全般)	…に還元	…に還元されている
A-21 6.31	$C_5H_{11}NO_s$	$C_5H_{11}NO_2S$
A-21 6.42 (c) : 右辺	$3Al_2O_3 (s)$	$2Al_2O_3 (s)$

該当箇所	誤	正
A-22 6.46	分子量=分子のそれぞれの原子の重さの総計; 式量=分子式のそれぞれの原子の重さの総計; モル重量=ある物質の 6.022×10^{23} 分子あるいは組成式のグラム重量	分子量=分子におけるそれぞれの原子の重さの総計; 式量=組成式におけるそれぞれの原子の重さの総計; モル質量=ある物質の 6.022×10^{23} 分子あるいは組成式単位のグラム質量
A-22 6.60		[解答追加] 分子数は 9×10^{20} 個
A-22 6.86	もっとも容易に酸化される: 左側の金属	もっとも容易に酸化される: 左側に位置する金属
A-22 6.88		酸化数が増加: (b), (c); 酸化数が減少: (a), (d)
A-22 6.90(a)	CO	Co
A-22 6.96	Application “写真” を …	Application の “写真” を …
A-22 6.98(a)	132 kg	133kg
A-22 7.9	 <p>(破線を指している ΔG)</p>	 <p>(ΔGは破線と破線の間の値を指す)</p>
A-22 7.11(a)		[s は削除]
A-22 7.15	高圧・低温によって …	加圧あるいは温度低下によって …
A-22 7.19(a)	$2A_2 + B \rightarrow 2A_2B$	$2A_2 + B_2 \rightarrow 2A_2B$
A-22 7.22(b)	 <p>(破線を指している ΔG)</p>	 <p>(ΔGは右側の2番目と3番目の破線の間の値を指す)</p>
A-22 7.40(c)	$T\Delta S$	ΔS
A-22 7.42	反応物が反応障壁を克服するために …	反応物が反応障壁を乗り越えるために …
A-22 7.52	… 正反応と逆反応の比は等しい.	… 正反応と逆反応の速度が等しい.
A-23 7.74(a)	$2C_2H_3OH(l) + 3O_2(g) \rightarrow 2CO_2(g) + 2H_2O(g)$	$2C_2H_5OH(l) + 3O_2(g) \rightarrow 2CO_2(g) + 3H_2O(g)$
A-22 7.76(a)	$Fe_2O_4(s) + \dots$	$Fe_3O_4(s) + \dots$

該当箇所	誤	正
A-22 7.80(a)	$4\text{NH}_3(\text{g}) + 5\text{O}_2(\text{g}) \rightarrow 4\text{NO}(\text{g}) + 6\text{H}_2\text{O}(\text{g}) + \text{熱}$	$4\text{NH}_3(\text{g}) + 5\text{O}_2(\text{g}) \rightleftharpoons 4\text{NO}(\text{g}) + 6\text{H}_2\text{O}(\text{g}) + \text{熱}$
A-23 8.1	(b) + 0.02 kcal/mol	-0.02 kcal/mol
A-23 8.2	4.3 psi	削除
A-23 8.6	0.27 L ; 0.88 L	0.27L ; 0.58L
A-23 8.9	168 mmHg	94.2 mmHg
A-23 8.14	He	Ar
A-23 8.16	35.0 mmHg	34.9 mmHg
A-23 8.18	(a) 減少 (b) 増加	(a) 高い順 (b) 低い順
A-23 8.21	1.43 kcal	14.3 kcal
A-24 9.28	1.5 mol	3 mol
A-24 9.92	体はいつそうヘモグロビンをつくる	人体はより多くのヘモグロビンをつくる
A-24 9.94	スポーツドリンクは電解質, 炭水化物, ビタミンを含む	スポーツドリンクは電解質, 炭水化物, ビタミンを含むため
A-24 9.104	0.020%(w/v)	0.0002%(w/v)
A-24 10.60	$K_a = [\text{H}_2\text{PO}_4^{2-}][\text{H}_3\text{O}^+] / [\text{H}_3\text{PO}_4]$	$[\text{H}_2\text{PO}_4^-]$
	$K_a = [\text{HPO}_4^-][\text{H}_3\text{O}^+] / [\text{H}_2\text{PO}_4^{2-}]$	$[\text{HPO}_4^{2-}]$ $[\text{H}_2\text{PO}_4^-]$
	$K_a = [\text{PO}_4^{3-}][\text{H}_3\text{O}^+] / [\text{HPO}_4^-]$	$[\text{HPO}_4^{2-}]$
A-24 10.86	25 mL ; 25 mL	50 mL ; 25 mL
A-24 10.90	0.13 mol/L ; 0.26 mol/L	0.13 mol/L ; 0.26 N
A-24 10.98	…炭酸水素塩として貯蔵する	…炭酸水素塩のレベルを回復する
A-24 10.100	2×10^{-6} mol/L	2.5×10^{-6} mol/L
A-24 10.108(a)	(追加)	OH^- , 塩基
A-24 10.108(b)	5.56 g	5.53 g
A-25 11.21	β 崩壊 α 崩壊	β 放出 α 放出
A-25 11.40	α 崩壊 β 崩壊	α 放出 β 放出 (補足) Z = 原子番号, A = 質量数
A-25 11.42	核分裂では原子核は小さなほかの元素になる	核分裂では原子核はより小さい元素になる
A-25 11.50	プロトン	陽子
A-25 11.74	三次元イメージを含めた, より多くのデータが得られる	三次元画像を含めた, より多くのデータが得られる

該当箇所	誤	正
A-25 11.78	核崩壊はそれぞれの核種に固有の特徴であり外的な要因に影響されない	核崩壊はそれぞれの核種に固有の特徴であり外的な要因に影響されないため
A-25 11.80(a)	β 崩壊	β 放出
A-25 11.82(b)	放射線の遮へい	放射線の遮へいのため
A-25 11.84	細胞は急速に分裂する	細胞が急速に分裂するため
A-25 11.86 利点	数少ない有害副産物	有害副生成物がほとんどない